

平26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新生児から木製玩具に触れ合うウッドスタート環境整備事業
事業主体 (連絡先)	木育フェスティバル実行委員会 (事務局 塩尻商工会議所)
事業区分	(6)ウ 森林づくりと林業の振興・(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	875,622円 (うち支援金:655,000円)

事業内容

1: 新生児に対する誕生祝い品としての木製玩具の製品プロデュース

- ① 木製玩具製作説明会 平成26年5月28日 12名参加
- ② 島根大学名誉教授山下晃功氏講演会 同年9月13日 25名参加
- ③ ウッドスタートおもちゃ選考会 同年9月13日～15日 569名投票
- ④ 木製玩具最終選考会 平成27年1月14日 選考委員10名
5作品選定

2: 塩尻オリジナル木育パッケージ用木製玩具の製品プロデュース

1)の①と②は同時開催

- ① 塩尻オリジナル木育パッケージ用木のおもちゃ作品展示
平成26年9月13日～15日 258名アンケート回収
- ② 塩尻オリジナル木育パッケージ用木製玩具の選考
木育フェスティバル実行委員会にて150品選定



【最終選考】

【目標・ねらい】

- ①市民参加型のコンペによる、木製玩具の決定
- ②木工関係者の新たなネットワーク確保・連携強化
- ③木製玩具新たな産業分野を創出・市場確保
- ④今後木育パッケージによる木に触れる機会の創出

事業効果

- ① 市民参加型のコンペを開催したことで、来場者に木育の理解が得られ、新生児への誕生祝い品として塩尻市が平成27年度から贈呈を始めることが決定した。
- ② 県内の木工作家さんたちのリストアップ、意識確認もできたことで、ネットワーク構築の礎ができた。
- ③ 来年度パッケージに採用するおもちゃの販売用パンフレットを作る計画なので、県内の木工作家さんの販売ツールとして、市場開拓への道筋が作れる。
- ④ 塩尻オリジナル木育パッケージの選定ができ、来年度の製作・活用事業により、子どもたちへの木に触れる機会を更に創出が可能になる。

※自己評価【B】

目標達成率	70%
①木工職人の作品出品数	
誕生祝い品	目標20 結果10作品(50%)
パッケージ	目標50作品 結果38作品(76%)
②出品木工職人	目標15名 結果11名(73%)
③作品コンペの投票者(フェスティバル来場者から)	
目標	1,000人 結果のべ827名(83%)

今後の取り組み

今年度支援金を活用し、「新生児に対する誕生祝い品としての木製玩具」の製品プロデュースを行い、平成27年度4月から塩尻市に誕生する新生児に対して木のおもちゃが贈呈されることとなりました。来年度は更に木に触れる機会を増やす環境整備を推進するため、継続して「塩尻オリジナル木育パッケージ」を製作し、市内の保育園・幼稚園等を巡回できるようにし、そこで「木に触れ合う大切さ」を伝え、木育を推進できる保育士などの人材育成を目指すとともに、昨年選定された木製玩具の商品PR・販路の開拓・市場の確保により木工産業の発展に寄与することを目指します。

来年3月11日に初の地方開催となる「第3回木育サミット」が塩尻で開催することが決定いたしました。塩尻で開催することで県内の木育関係者が身近に参加でき、県内全体の木育の気運を高めることにもつながります。また木育フェスティバル・新生児への木のおもちゃの提供が実現し、さらにパッケージが出来上がることで、この支援金の大切さを訴えることができます。サミットには全国から参加者が集まることで観光事業としても塩尻の魅力をPRしていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある